

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

【第56回】

立岩っ子クラブ ～ 緑豊かな地域ので、心豊かな子どもを育む ～

愛媛県松山市立立岩小学校長 城本 すみ江

「校長先生！東日本大震災に遭った宮城県石巻市開北小学校の児童クラブから、お礼の手紙が届きました。」・・・立岩っ子クラブのコーディネーターの先生が、笑顔で、そして、声を弾ませながら校長室に報告に来てくれました。「よかったですね。子どもたちの思いが届いたんですね。」二人で喜び合いました。そうです。立岩っ子クラブの子どもたちが、「被災された方々を元気にしたい。応援したい。何かしたい。」という気持ちを絵手紙教室で作った絵手紙に込めて被災地に送っていたのです。お礼の手紙は、早速、立岩っ子クラブの教室に掲示されました。「避難所にいるんだって、大変だね。」「ぼくのうちは津波で壊れましただって、かわいそうやね。」「ありがとう。頑張ります。そちらも頑張ってくださいって、逆にこっちを応援してくれているよ。」等々、心配そうにしながらも、自分たちの思いが届いたことが嬉しくてたまらない様子でお礼の手紙を読み返していました。「緑豊かな地域ので、心豊かな子どもを育みたい」という地域の強い願いを受け開設された立岩っ子クラブへの思いが、子どもたちの姿や行いにつながっていることを強く感じました。

立岩っ子クラブは開設3年目、学校・地域・家庭との密着型放課後子ども教室です。コーディネーターをはじめ、スタッフやゲストティーチャーは立岩地域の「ひと・もの・こと」とつながった方々ばかりです。また、小学校の特別教室、体育館等を活用して、地域・学校の力強いバックアップのもと、伊予万歳体験教室等の伝統芸能保存活動をはじめ、放課後子ども教室ならではの活動が多く行われています。そして、そんな立岩っ子クラブに全校児童が参加し、学校の教育活動終了後も、異年齢の子どもたちが場所や遊びや思いを共有しながら、かかわりがずっと続いています。「緑豊かな地域ので、心豊かな子どもを育む」を合い言葉に、学校・地域・家庭と共に、今日も立岩っ子クラブは歩んでいます。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第186号に掲載）